



アップコン株式会社

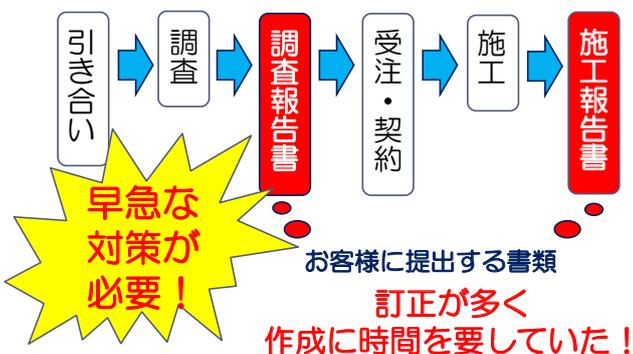
— 日本語検定活用事例 —

アップコン株式会社は、沈下した床を特殊なウレタン樹脂で修正する会社です。同社は社内で日本語検定を推奨しており、平成26年度第1回検定試験では東京書籍賞優秀賞(団体賞)を受賞し、平成26年度第2回検定試験では3級で社員の方が文部科学大臣賞(個人賞)を受賞しました。文部科学省「中央教育審議会 生涯学習分科会 学習成果活用部会」で、その活用事例が紹介されました。

● 社内の「文章能力を上げる」ために

同社では、【仕事のフローチャート】のように、お客様に提出する書類として、「調査報告書」と「施工報告書」がありますが、訂正が多く作成に時間がかかっていました。その為に報告書の「文章能力を上げる」ことが急務で、その対策として「日本語検定」を平成26年から導入しました。

● 仕事のフローチャート



● 「文章能力を上げる」対策

報告書の「文章能力を上げる」



日本語検定の活用

- ★平成26年2月1日～ 社内で資格取得推奨開始
- ★平成26年度 第1回(6月14日) 日本語検定試験【社員21名が受験】

● 日本語検定を活用

同社では、47の資格取得を支援しており、日本語検定も1級認定者に月15,000円、2級認定者には月10,000円の資格手当を支給しています。また、全社員が社会人基礎レベルの3級を取得することを必須としています。

● 当社の資格取得支援

資格・講習名	資格手当	勤務承認	受験料※1	講習料※2	登録・申請料	更新料	更新講習料	交通費
日本語検定1級 資格手当 15,000円/月 日本語検定2級 資格手当 10,000円/月 <small>※受験料、交通費他の支給もあり</small> <small>※日本語検定3級 受験料、交通費のみの支給</small>								
12 住宅地盤調査主任技士(施工)	○	○	○	○	○	○	○(4年毎)	○
13 住宅地盤調査技士(調査)	○	○	○	○	○	○	○(4年毎)	○
14 住宅地盤調査技士(施工)	○	○	○	○	○	○	○(4年毎)	○
15 測量士	○	○	○	○	○	○	○	○
16 測量士補	○	○	○	○	○	○	○	○
17 建設業経理士1級	○	○	○	○	○	○	○	○
18 建設業経理士2級	○	○	○	○	○	○	○	○
19 日本語検定1級	※4	○	○	○	○	○	○	○
20 日本語検定2級	※4	○	○	○	○	○	○	○
21 日本語検定3級	○	○	○	○	○	○	○	○
22 建設業施工管理技士	○	○	○	○	○	○	○	○
23 建設業施工管理技士	○	○	○	○	○	○	○	○
24 危険物取扱者乙種四	○	○	○	○	○	○	○	○

47の資格取得支援

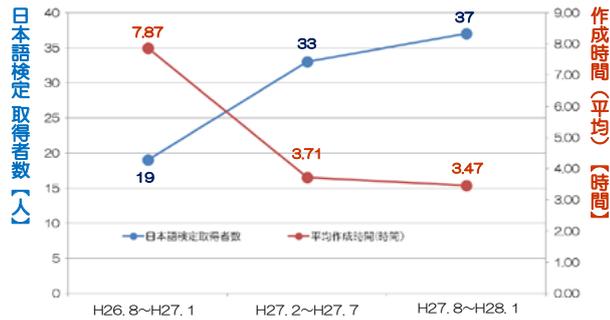
● 日本語検定資格取得数の推移



次ページへ続く ➡

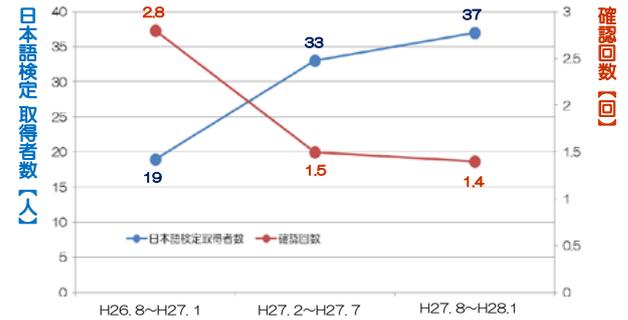
成果

★報告書作成時間の推移



成果

★報告書確認回数の推移



まとめ

文章能力レベルアップ

(日本語レベルアップ)



業務の効率化

お客様への信頼性向上

「日本語検定では敬語も出題されますよね。私も社員もお客様と接することが多く、当たり前のことですが、正しい敬語を使えなければなりません。電話対応の時は、業務をしながらも周囲の人間が耳を傾けており、少しでもおかしな対応があると、電話を切った後、勉強をした社員たちが指摘をし合って、正しい敬語を確認することで、更に知識を身につけています」と松藤社長。

「日本語は言葉遣いの誤りがあると、違う意味に取られることがあり誤解を招く可能性があります。会議や打合せの場合は、伝え方に誤りがあり誤解されたとしても、その場での修正が可能です。しかし、メールや送付状などの手紙の場合は、相手の姿が見えない分、誤解を与えないよう、言葉遣いに気を配らなければなりません。日本語検定は、このような文章作成をする業務にも活かされればと考えています」と松藤社長は話します。